

# ミカン園地の再編復旧と集積

Interview no.2



玉津共選場 共選長  
山本 計夫 氏

## 被災を乗り越え、前を向く

「玉津ブランド」で知られる、宇和島市吉田町玉津地区のミカン園地は、2018 年の西日本豪雨によって急斜面が土砂崩れを起こし、丹精込めた果樹や灌漑設備や作業用モノレールなども流出し、大打撃を受けました。

幸い、この地域にはUターン・Iターンの若手後継者が多く、災害を乗り越えて農業を自分たちの手で盛り上げて行こうという気概にあふれていました。そういった地域の特性も踏まえて、2019 年から農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、若手後継者の将来を見据えた再編復旧工事を開始することになりました。

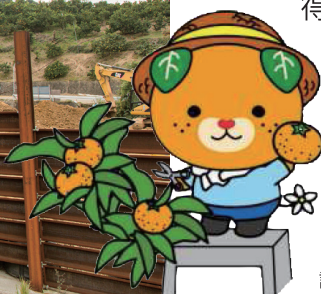
## 園地集積を契機に

### 産地をグレードアップ

これは、単なる復旧工事ではなく、被災園地周辺の被害に遭っていない園地をも合わせて広範囲での区画整理を実施するとともに、園地の団地化や傾斜の緩和、排水機能を備えた農道や園内作業道を整備するなど、担い手の負担軽減を図りながら、災害に強く、生産性の高い園地として再生していく予定です。



2025 年までには、工事が完了。基盤整備後の農地は換地を行いながら、担い手に集積します。その後5年をかけ、集積率を現在の約 30%から 100%に 上げ、所得の向上を見込める 園地再編を目指していきます。



許諾番号:301-013